

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業	継続	拡大	拡大	連絡先 連携課	052-654-7921 計画担当
目的	対象(誰・何を)	大型船による完成自動車輸送機能			事業 期間	平成27年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	金城ふ頭に集約・拠点化し、荷役の効率化を図ります。				
概要	整備場所:金城ふ頭 内容・規模:非効率な荷役形態の改善及び船舶の大型化への対応を図るための、施設利用の再編に合わせた、水深12mの国際物流ターミナルの整備 総事業費:182億円 事業手法:直轄事業、起債事業				根拠 法令等	社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	本事業を実施することにより、大型船による輸送が可能となり、輸送コストが削減されます。また、機能集約により完成自動車のふ頭間横持が解消し、輸送費用が削減されます。費用対効果は、ふ頭再編改良事業全体で3.3です。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
27年度の実施予定	国が既存の84号岸壁について、水深12mに改良するための設計を行い、その内容について協議を行います。また、新たな水深12mの岸壁(1・2突間)及び背後の埋め立てに関する手続きを進めます。				関連 シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	国により既存の84号岸壁について水深12mに改良するための設計が完了し、その内容について協議を行いました。また、新たな水深12mの岸壁(1・2突間)及び背後の埋め立てに関する手続きを行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(26年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	-	188	(100,000) 45,000	(100,000) 45,188	事業費の( )は、国費負担分を含んだ金額です。
人件費	千円	-	15,178	2,319	17,497	
合計	千円	-	15,366	47,319	62,685	

3 CHECK(検証)

指標名	25年度	26年度	27年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
新規岸壁整備(-12m) 等の事業進捗状況(全7 工程) (進行管理型)	目標	-	1	2	4(累計)	金城ふ頭1・2突間の埋立を伴う新規岸壁整備等の工程のうち、完了した工程数を合計します。 (①港湾計画の変更、②事業採択、③環境アセスメント、④埋立免許、⑤埋立護岸整備・岸壁整備、⑥泊地整備、⑦ふ頭用地整備)	
	実績	-	1	2			
	事業進捗状況(27年度)				順調 やや遅れ・遅れ		
指標名	25年度	26年度	27年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗状況(全4工程) (進行管理型)	目標	-	1	2	4(累計)	金城ふ頭84号岸壁の改良事業の工程のうち、完了した工程数を合計します。 (①港湾計画の変更、②事業採択、③岸壁改良、④泊地整備)	
	実績	-	1	2			
	事業進捗状況(27年度)				順調 やや遅れ・遅れ		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	事業採択され、環境アセスメントのうち配慮書手続き・方法書手続きが終了し、順調に事業進捗しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 港湾管理者として、名古屋港における完成自動車輸送の効率化を行い、基幹産業の国際競争力の維持・強化を図っていく必要があります。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 金城ふ頭における完成自動車輸送の効率化は、上位施策の「国際・国内海上輸送機能の強化」に資すると考えています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	-					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 最小のコストで事務を行いました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	背後のモノづくり産業の国際競争力強化に向けて、完成自動車輸送機能の集約・拠点化を早期に図る必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			28年度以降の取組
完成自動車の取扱い拠点の分散による非効率な荷役形態の改善や船舶の大型化へ早期に対応するため事業進捗を図っていく必要があります。			84号岸壁の改良については平成29年度完了を目指し、関係者と調整しながら計画通り事業を進捗させます。 1・2突間の埋立については、着実に環境アセスメント手続きを進めます。